

河北新報普及センターと尚綱学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2019年 5月



ハナモモチャン

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚綱学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991



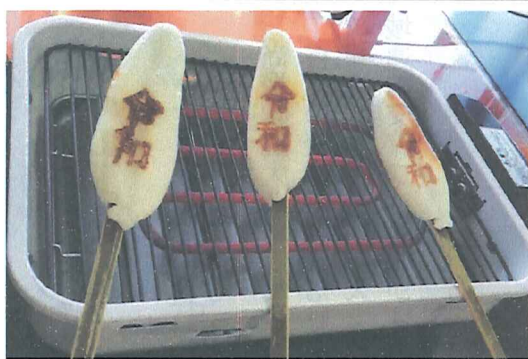
採食兼備地元産を堪能

かわまちてらす閑上開業

名取市閑上地区の新たな復興の象徴「かわまちてらす閑上」が4月25日オープンしました。名取川に架かる閑上大橋のたもとに完成した新たな復興の象徴となる施設を、尚綱学院大ハナモモ通信記者が新元号「令和」の初日5月1日、ぶらり食べ歩きに訪れました。



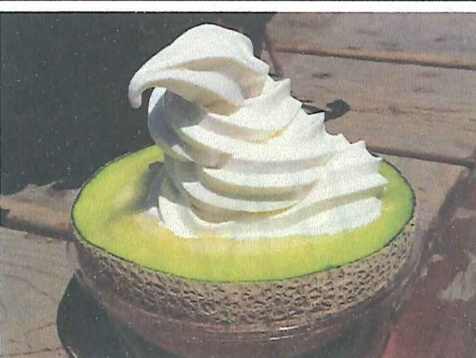
真っ赤な誘惑に引き寄せられ、最初に選んだのはストロベリースイーツカフェ「ICHIBIKO(いちびこ)閑上店」です。宮城県山元町で生まれた高品質の「ミガキイチゴ」を使いたいちびこミルクといちごサンド、いちごパフェを注文しました。イチゴのポリウムに見た目で圧倒されるだけでなく、イチゴ狩りに来たような満足感やぜいたくな気分を味わうことが



できます。メニューも豊富で、何度訪れても楽しめること間違いなしです。閑上で創業し50余年、吟味した素材と丁寧なモノづくりがモットーの笹かまぼこ製造・販売「ささま」では笹かまぼこの手焼きを体験。当日は200本限定で、「令和」の焼き印入りの「スペシャル」笹かまぼこを味わうことができました。味わうことができ、焼くのが楽しく、待つ時間は楽しく、熱々をほお張れば素材のうまみと香ばしさが口中に広がって、すっかりとりこになりました。



どのお店も従業員の皆さんが笑顔で接客し、活気にあふれていました。川沿いの景色も居心地がよく、人モノ、自然が何度も訪れたいと思えるような空間を演出していました。皆さんもぜひ足を運んでみてください。(菊地美里、星野裕太)



最後は産直市場「野菜畑マルシェ」を訪ね。近隣農家から仕入れた旬の野菜や果物が並んでいます。メロンを半分に切り、種を取って濃厚なソフトクリームをこんもりとのせた「まるごとメロンソフト」。食べて満足するだけでなく、インスタ映えも間違いなし!

ハナモモ 新人記者紹介

ライターサークルハナモモに入って間もないのでわからないことが多く不安もありますが、しっかりと自分のやるべきことを取り組んでいきたいと思っていますので、よろしくお願います。(石井太陽)



私は情報系のウェブメディアが好きで、自分も文書を書きたいという気持ちから参加しました。県外出身なので、記事を書きながら名取市について知っていきたいと思います。よろしくお願います。(村田陽香)



今年の4月から宮城県に引っ越して来たばかりで知らないことがたくさんあります。先輩方から教わりながら頑張りたいと思います。(山本想良)



工作・ゲームで楽しく

名取市図書館「こどもまつり」

名取市図書館 増田公民館で4月28日に「としよかんこどもまつり」が開催されました。としよかんこどもまつりは「こどもの読書週間」に合わせて開催され、



子どもたちが読書や図書館に親しんでもらうためのイベントです。今回は工作やボードゲーム、おはなし会などが行われました。



工作では名取市図書館友の会「なと」との皆さんがミサンガやビーズクラフト、手作りの布でできた本作りなど様々な体験ができたので世代を関係なく楽しむことができます」と話していました。ボードゲームコーナーの企画をした尚綱学院大の林航平さん(19)は「デジタルゲームも多くあるが、みんなで集まって楽しめるボードゲームの面白さをもっと広めたい」と話していました。

おはなし会では「おはなしキラキラの会」の皆さんが絵本や紙芝居、手遊び、



ブラックパネルを使った多種多様な読み聞かせを行い子ども達を楽しませていました。(後藤香菜子)

●6月の予定
8日名取昔ばなし語りの会
22日ねむの木
28日ナイトライブラリー
29日藤田浩子さんによるおはなし会

「名取☆もうそうしninght」 ハナモモライターが出演!

「エフエムなとり なとらじ801」で毎週月曜午後9時半から放送している「名取☆もうそうしninght(ナイト)」に石幡快と星野裕太のハナモモ記者2人が出演しました。

5月20日の放送では、ハナモモ通信が「名取市民と深くかわりたい」という学生の思いと、「名取の身近な情報を届けたい」とい

う河北新報普及センターの熱意が合わさって創刊された経緯を紹介しました。パーソナリティーの寺嶋雅子さんの「記者活動を通じて感じたこと」について質問され、2人はそれぞれ「読者に伝わる表現と現行の文字数制限との両立」や「取材に協力してください」に人に対する礼儀や言葉遣いの難しさについて話しました。

寺嶋さんの軽妙なトークで話題は広がり、ノリノリの2人は記者になった動機や印象に残った取材などについて紹介しました。
名取☆もうそうしninght「尚綱大生が地元取材☆ハナモモ通信を読まninght(ナイト)②」は、なとらじ801(周波数80.1MHz)で聞くことができます。聞き逃した番組はYouTubeで振り返ることができます。名取で活躍している方々のトークや魅力が詰まった楽しい内容になっていますよ。



【放送日時】
6月
3日(月)21時30分
4日(火)12時(再放送)
10日(月)21時30分(再)
11日(火)12時(再)
(星野裕太)

地域の学び舎へ

地域連携交流プラザ

尚綱学院大(ゆりが丘4丁目)の授業や課外活動をオンモール名取(杜せきの紹介する「尚綱学院大学地した5丁目」)に開設された地域連携交流プラザが4月19日、リニューアルした。大学の取り組みを紹



介するだけでなく、市民の世代を超えた交流や生涯学習の拠点としても期待されています。

オープン記念の特別講義があり、赤坂和昭教授が「フルーチェはどうして固まるの?」ゲル化の秘密を化学でひも解く」と題して解説。「牛乳に含まれるカルシウムがペクチンと反応することで固まる」と身近な食品に起こる化学反応を紹介しました。赤坂教授は「講義を通じて様々なことを知り、日常生活や仕事に生かしてほしい」と話しました。母親と交流プラザを訪れた女子高校生は「外観のデザインがとてもいい」と感想を述べました。母親も「受付を学生が担当するなど親しみやすい場所にしてほしい」と期待していました。6月からは外国語講座やヨガ教室などの定期講座が始まります。申し込みは尚綱学院大のホームページで受け付けています。締め切りは6月1日です。(島田千穂)